

男女共同参画キホンのキ ～男女共同参画って何？～

講師の伊藤公雄先生に男女共同参画について大変わかりやすくご講演いただきました。
受講者もあまりのわかりやすさに大満足でした。
「もっとたくさんの方に聞いてもらいたかった」というご意見もたくさんありました。

令和元年度滋賀県立男女共同参画センター
さんかく塾
第1回講座

男女共同参画 キホンのキ ～男女共同参画って何？～

6月16日
日曜日
13:30～16:00
受付開始 13:00

講師
伊藤公雄 さん
京都産業大学
現代社会学部教授

男女共同参画
について知るなら
今です!!

よく耳にする「男女共同参画」。大事なんだろうけど、正直よくわからない。疑問を解決する講座です。滋賀県の男女共同参画審議会会長の伊藤先生をお迎えし、「男女共同参画とは何か」というキホンの部分を学びます。男女共同参画について学びたい方もぜひどうぞ!

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。
～令和元年度キャリアアップ～
「男女共同参画[学]」 “知る、学ぶ、考える、私の人生私がつくる”

申し込み方法
裏面申込用紙を当センターへ持参されるか、郵送、FAX、メールでお申し込みください。

参加無料 託児あり

主催：滋賀県立男女共同参画センター G-NET

〒523-0891 近江八幡市廣町南80-4
滋賀県立男女共同参画センター
TEL: 0748-37-3751
FAX: 0748-37-5770
[Email] g-net@pref.shiga.lg.jp
[HP] 滋賀県立男女共同参画センターで検索してください。



講師 伊藤公雄さん
京都産業大学 現代社会学部 教授

「目からうろこ」

「これから日本も世界に追いつかないと」

「そうだったのか！」

「データからよくわかった」

「悩みが和らいだ」

大好評でした！！

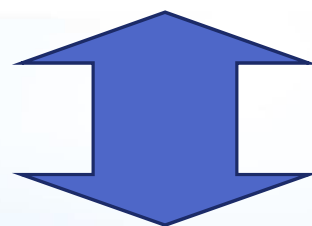
Q.1

日本男性はイクメンだった！？



江戸時代にイギリスの外交官ルーコックが記した「大君の君」から、江戸時代は男性が子守をしたり、職場まで子どもを連れて行ったりしていた姿が見て取れる。つまり、イクメン社会だった。また、「女性は家事のみ」ではなく、女性も自分の仕事を持っていた。

男女の役割は、文化や歴史によって変化します。女性差別は世界中で広がっていましたが、とはいえ、日本の社会は、当時の西洋社会と比べて女性の社会的参加が目立つ社会だったことも事実です。



その頃 ヨーロッパでは . . .

家父長制が確立し、家長である男性の許可なしには女性はお金も使えなかったようです。女性は保護の対象であり、労働参加にもかなり制約があり、女性の社会参画はかなり難しい社会でした。

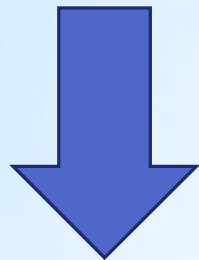


Q.2 男女共同参画・女性活躍の 日本の遅れの原因は？

1970年頃がターニングポイント

女性の人権への対応 不況による女性労働参加の拡大
国際社会の変化

対応しなかった国 OECD加盟国では南欧と東アジア（日本、韓国）



敗戦直後は、日本は世界でもトップクラスの男女平等の法律をもっていた。
男女平等への動きが進んでいた。→イエ制度をやめる動きもあった。

日本が対応しなかった原因

高度経済成長期の成功体験の負の効果

- ・ 女性の活躍なしで、経済の安定成長を維持できてしまった。
- ・ 男性の年収の急増
女性の労働ではなく消費による疑似的「自己実現」
- ・ 「女性は家庭に」を支えた制度・政策の存在

他にも

20年前

世界と比べて30年ほどジェンダー平等が遅れた

男女共同参画

性別的性差を配慮しながら男女差別をしない条件を考えながら細かな部分を調整しないと
いけない → 進まない

➡ **女性が働きにくい社会**

Q.3 女性活躍なしには日本の未来はない？

女性が働く

女性が働いている国ほど子どもが生まれている

女性が働ける仕組みが整備されているから
(保育所など)

女性が働けない

- ・ 家族政策の不十分性
(保育所整備など)
- ・ 男性の家事、育児不参加

低出生率

労働力が足りない

21世紀前半の日本社会の安定した発展には男女共同参画とワークライフバランスが必要！！

女性差別が残っている社会は「カッコ悪い」

Q.4 男性主導社会で男性は「幸せ」?

- ・ 長時間労働 ← 過労死のほとんどが男性
- ・ 減少する男性の賃金 ← 家族を支えないといけないプレッシャー
- ・ 「男らしさの鎧」 ← 弱音を吐くな 自分で解決しろ 感情を出すな
- ・ 変化に弱い男性 ← 不安定になると成功した前例にすがろうとする
(女性は出産、育児等で変化を経験し、変化に対応)

これからの社会は

共働きしないと生活できない社会
(共働きでも総収入は減りぎみ)

- ・ 女性の社会参加・労働参加
- ・ 男性の家庭参画の拡大

↓

男性の「弱さ」「辛さ」
が
DVや性暴力へ

これからの社会を

- 女性が社会参画・労働参画しやすい社会に
- 真に女性が活躍できる男女共同参画＝ジェンダー平等社会の構築へ
- 性別を超えて個々人がその力を発揮できる、多様性に開かれた社会へ



男女の「二色塗り社会」から
「多色塗り社会」へ